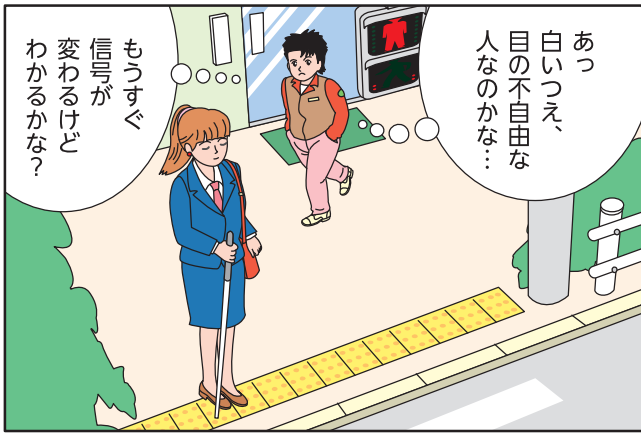


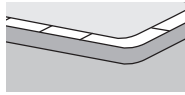
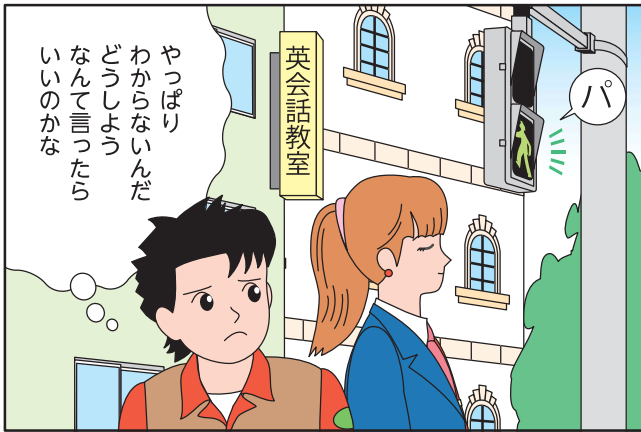
しょうがい ひと 障害のある人とともに

● 障害のある人と人権 ●



みなさんの周りには、体の不自由な人、知的障害のある人など、さまざまな人が暮らしています。しかし障害のある人には、社会で生活する中でさまざまな“不自由なこと（バリア）”があります。

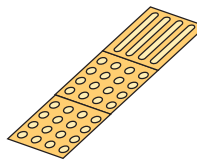
障害のある人もない人も、みんなが快適に過ごせることがとても大切です。



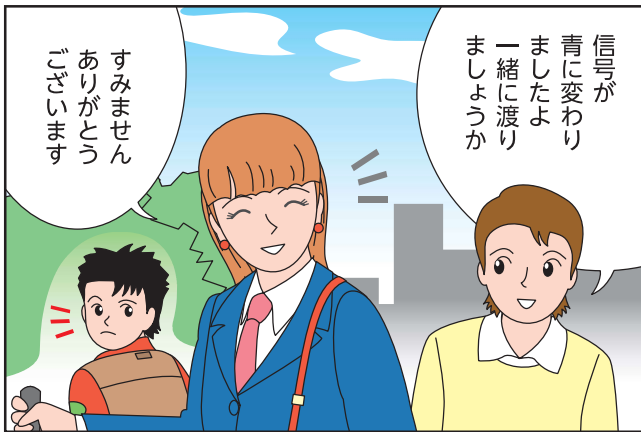
足の不自由な人や車いすを利用している人は、段差などを容易に越えることができません。



電車やバスで席をゆずりましょう。



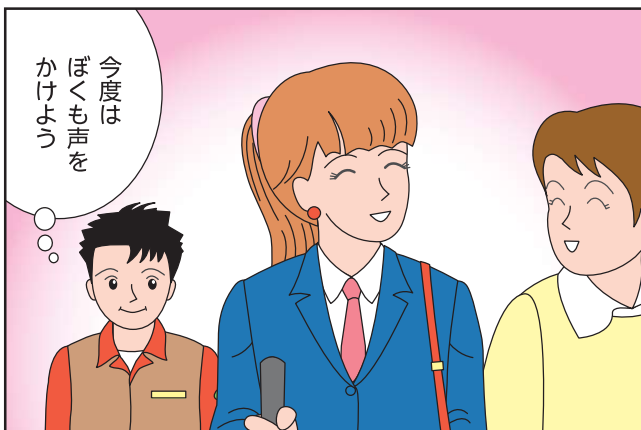
視覚障害のある人は、点字ブロックをめぐり歩いて歩きます。その上に自転車などが置いてあると、ぶつかって転んだり、通れなかったりします。



障害のある人にとって盲導犬等は大切なパートナーです。さわってはいけません。



障害のある人が困った時に見せて、手助けを求めるといいです。



困っている時にだれかに助けてもらえると嬉しいですね。みんなも障害のある人が困っていたら、手助けしましょう。みんなにもできるはずですよ。